

事前評価個表

整理番号	19
------	----

地域（地区）名	<small>ながききなんぶ</small> 長崎南部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	長崎県	対象市町村	<small>ながきき</small> 長崎市ほか 8 市町
事業実施期間	R3 年度～R7 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、長崎県西南部及び南東部に位置し、雲仙・多良山系などを擁しており、豊かな自然や動植物が生息している。また、県庁所在地があることから、中心部は都市化が進んでいる。</p> <p>本地域の民有林面積は、65,210haであり、総面積の40%を占めており、林業生産額は31億円となっている。また、本地区内の林道延長は、418.2kmで、公道等を含むと林内道路密度は29.0m/haとなっている。</p> <p>本地区は森林に恵まれており、人工林は30,725haであり、人工林率は47%となっている。うち、Ⅺ齢級以上の利用可能な林分が79%を占めており、多くの人工林が木材資源として本格的に利用が可能な段階を迎えており、間伐等の採算性の向上に向けた施業の集約化、路網整備と高性能林業機械との組み合わせによる低コスト作業システムの構築、県産材の利用拡大を通じた林業の再生等を図っていくことが望まれる。また、森林の有する水源<small>かんよう</small>涵養等の多面的機能の発揮を図るため、必要な施業を適時・適切に行うことで、森林の健全性を保っていくことが求められている。</p> <p>このため、長崎南部森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、適切な森林整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,611ha</p> <p style="padding-left: 40px;">保育間伐、間伐、森林作業道</p> <p>総事業費：1,930,852 千円（税抜き 1,755,320 千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.68</p> <p>（総便益（B）=23,699,889 千円、総費用（C）=4,173,923 千円）</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の状況、森林整備の緊急性などから見て必要性が高い</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるほか、森林整備におけるコスト削減の取り組みを実施することとしている。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源<small>かんよう</small>涵養、国土保全等の機能の確保が図られるとともに、将来の優良材の安定的生産にとって有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：長崎県

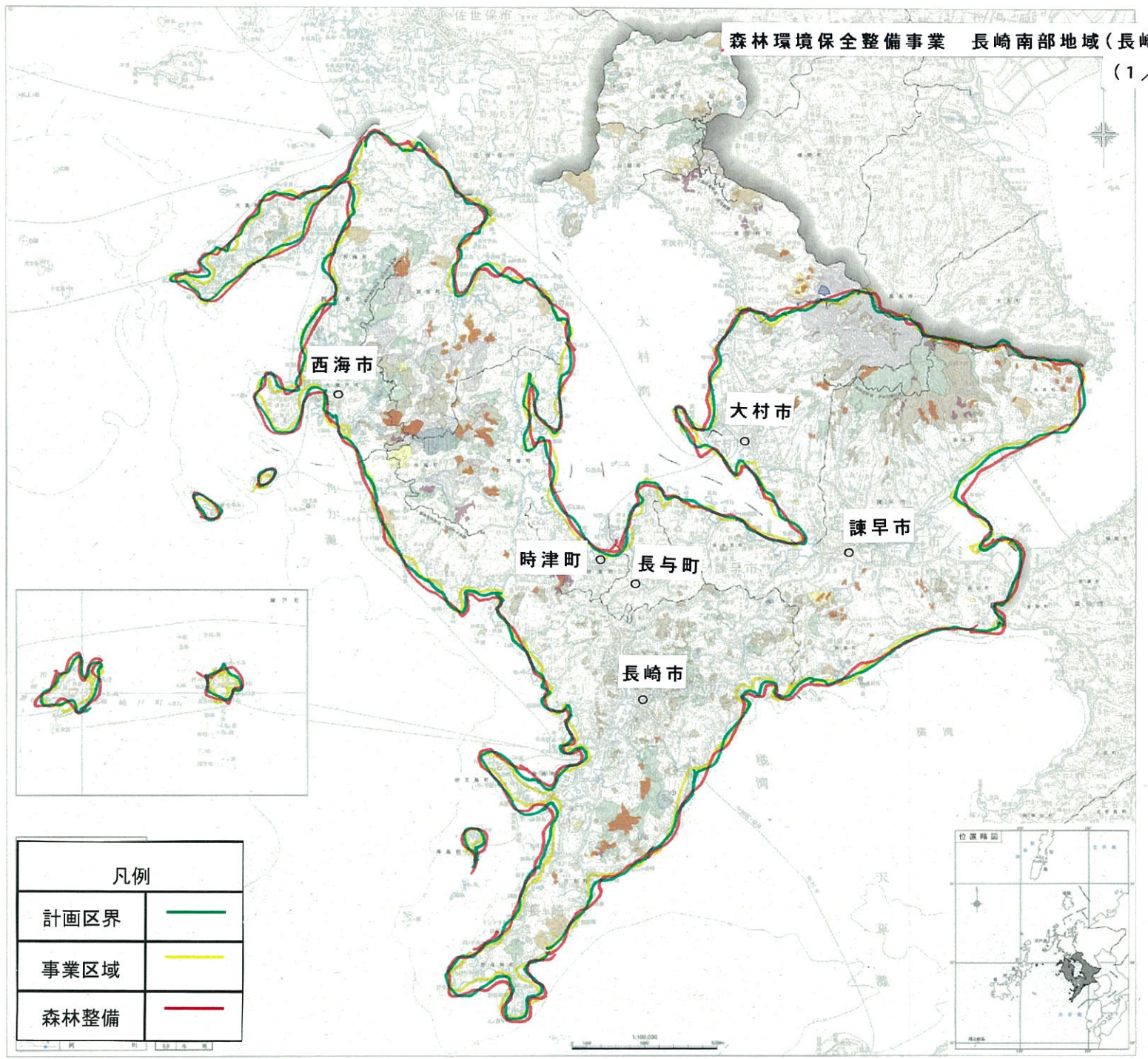
地域(地区)名：長崎南部

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,175,411	
	流域貯水便益	1,816,711	
	水質浄化便益	6,759,683	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,381,697	
環境保全便益	炭素固定便益	3,566,387	
総 便 益 (B)		23,699,889	
総 費 用 (C)		4,173,923	
費用便益比	$B \div C = \frac{23,699,889}{4,173,923} = 5.68$		

森林環境保全整備事業 長崎南部地域(長崎県)

(1/2)

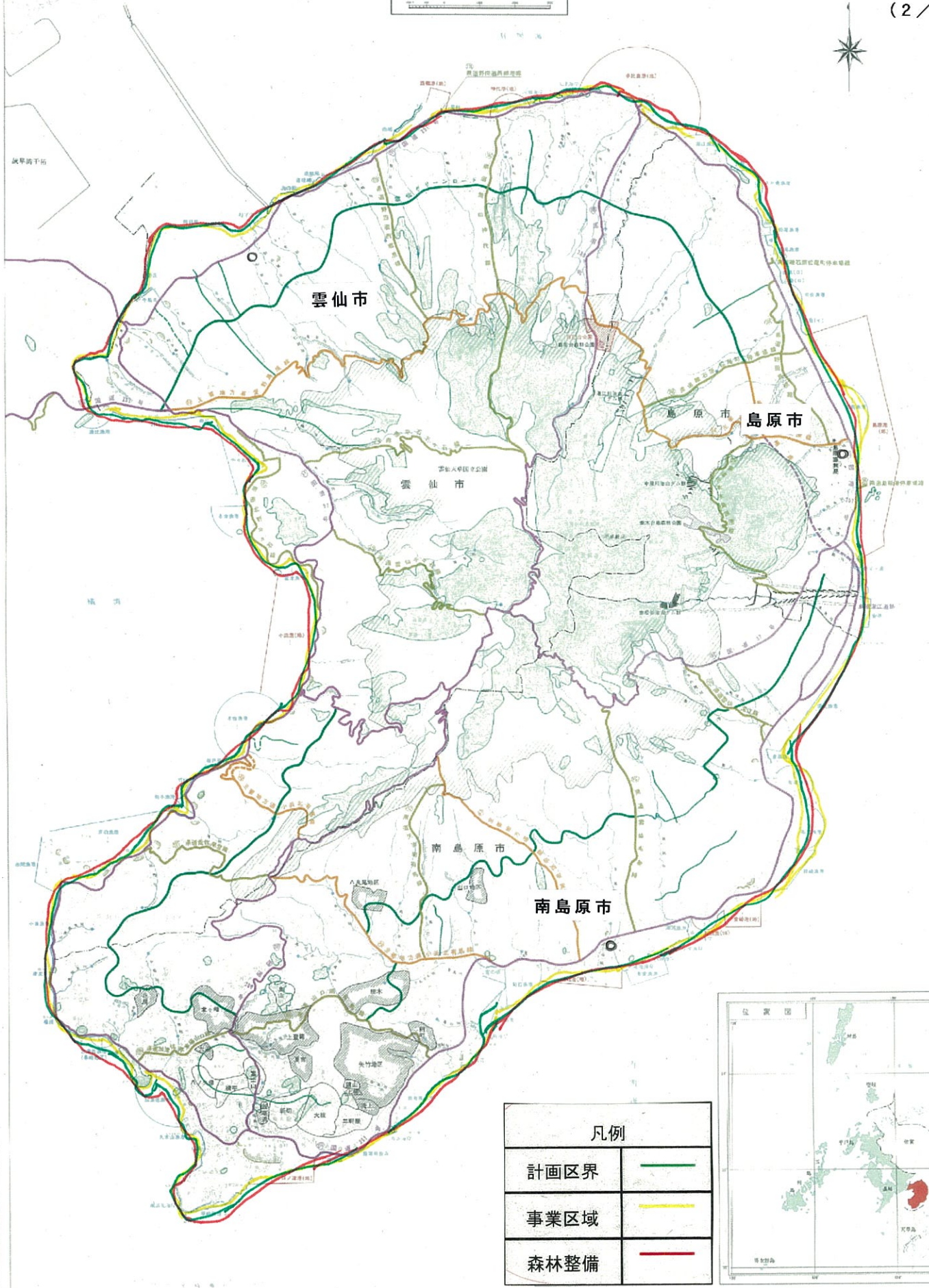


凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

森林環境保全整備事業 長崎南部地域(長崎県)

1:100,000

(2/2)



凡例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)



この地図は、国土院の承認を得て、同院発行の5万分の1縮尺図を複製したものである。(承認番号 甲19後、第01号)